

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部文化学科 ヨーロッパ・地中海地域研究科
学年(出発時)	三年
大学名	タスマニア大学
国	オーストラリア
留学期間	1年
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	授業の予習
10:00	授業
11:00	授業
12:00	昼食
13:00	授業の予習
14:00	授業の予習
15:00	授業
16:00	
17:00	エクササイズ(dance sessionに参加)
18:00	夕食
19:00	休憩
20:00	フラットメイトと勉強
21:00	フラットメイトと勉強
22:00	フラットメイトと勉強
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(試験)
Queering Japan (日本探究)	2コマ	1	英語	記述試験
Food, Wine and Agritourism	2コマ	1	英語	レポート
China's Global Power	2コマ	1	英語	選択問題+記述問題
English1A(英文学)	2コマ	1	英語	レポート
後期				
English1B(英文学)	2コマ	1	英語	レポート
Introduction to International Relation	2コマ	1	英語	記述試験
Making Media(映像制作)	2コマ	1	英語	映像作品制作

大学のサポート	
チューターの有無	無し
チューターのサポート内容	無し
語学コースの有無	無し
コース名、料金、期間等	無し

生活	
住居のタイプ	University apartment
住居の名前	学生寮
部屋タイプ	シェアハウス
ルームメイト(国籍)	中国、韓国、香港
室内設備	ベッド、勉強机
共用施設	キッチン、バス、トイレ
インターネット設備	大学のFree Wifi 完備
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩10分
アルバイトの有無	無し
アルバイトの内容	無し

渡航	
Visaの種類	Student Visa
Visa申請先	Australian Government, Department of Home Affairs
Visa取得にかかった日数	約一か月
Visa取得にかかった費用	628AUD (約5万円)
Visa取得方法、提出書類等	オンライン申込み、OSHC・CoEを提出
留学先大学の最寄り空港までの経路	関西国際空港→シドニー→ホバート
渡航費用	往復約14万円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	教職課程を履修しているため。
就職活動開始時期	2021年1月
帰国後の進路	学生

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	74円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	61,258円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	1万円以内
宿舍費(月額)	約8万
光熱費(月額)	家賃に含まれる
食費(月額)	約2万
その他	約10万(旅費)
留学期間中にかかった費用の合計	約100万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

オーストラリアのタスマニア大学で、一年間三重大学からの交換留学生として学ばせていただきました。現地に到着したのが2月の頭で帰国したのが12月末なので、実際には現地に約11か月滞在していました。短い期間ではありますが、とても多くのことを学ぶことができ、満足しています。2020年は、世界中でコロナウイルスが流行した年でした。現地について2か月ほどの時に感染の流行がピークを迎え、一時は国際交流チームの方とメールで帰国について話し合いました。しかし、タスマニアは本土から離れた離島であり、外部の人は立ち入り禁止になっていたため感染が広がっていませんでした。そのため、そのまま現地で留学を続けることができましたが、前期の授業はすべてオンラインでした。後期になって、一部の演習要素の強い授業でのみ大学へ行き、対面での授業が行われましたが、私の留学のほとんどは現地で自分の部屋で、オンライン授業を受けるといった形でした。オンライン授業は、zoom上で行われ、授業中には生徒が発言したり、グループに分かれてディスカッションをしていました。授業は録音録画されていて、何度も見て復習することができたので、助かりました。先生たちもとても優しく、コロナ下での状況を理解し、手厚くサポートしてくれました。そのため、大学で履修した科目についてはすべて十分に学ぶことができましたと思います。しかし、現地の生徒さんと直接会う機会が減ってしまったことは少し残念でした。大学へ行く機会がなかった分、ルームメイトと話したり遊ぶことが多くなりました。私は大学の寮に住んでいたため、たくさんのinternational studentsやオーストラリアの学生がいました。寮ではほぼ毎日のようにイベントをしているので、それに参加することで友達ことができました。ルームメイトや近所に住む友達と一緒に勉強したり、運動したりして日々を過ごしたので、そこで英語を練習することができました。また、勉強についていくのも大変だったので、暇があれば授業の予習や宿題をしていました。国際交流に、勉強にと、私のやりたかったことはすべてできたので、本当に充実した日々を過ごせたと思います。留学が終わった今は、感謝の気持ちともっともっと英語を学びたいと言う気持ちでいっぱいです。

今後留学する人へのアドバイス

私の留学体験は、今までと少し違った特殊なものだったと思います。しかし、タスマニアで生活する中で気づいたことはたくさんありました。オーストラリアは多国籍国家なので、本当にいろいろな国から来た人が住んでいます。私の印象では、オフィスビルで働いている人は白人ですが、タクシーの運転手さんや清掃員さんはインド系の方々でした。また、レストランの種類も豊富で、日本食や韓国、中国、タイ、マレーシア、ベトナムなどいろいろな国の料理が楽しめました。なので、いろいろな国の人と交流したい、様々な文化に触れたい人にはおすすめの留学先です。そして、タスマニア大学のスタッフさんはとても優しくかったです。対応がしっかりしていて、留学生用の相談室や英語のサポートシステムがあり、サービスが充実していました。これも、タスマニア大学のおすすめポイントです。地理的には、海と山に囲まれていて、自然がいっぱいの野性味あふれるところです。そのため、海に行ったり山に行ったりする遊び方が多かったです。タスマニア大学のあるホバートは、シドニーやメルボルンと比べると小さな都市ですが、私はとても住みやすい街だと思います。また、健康意識が強かったのも印象的でした。周りの友達が皆大学のジムに通っていたため、私も後期から通い始めました。このように、健康的で自然に囲まれた生活が、タスマニアの特徴です。最後に、英語上達についてですが、私はとにかく一秒でも多く友達といるようにしていました。イベントに参加したりすると、友達ができると思うのでおすすめです。個人的な意見ですが、広く浅くよりもすぐく仲の良い友達ができると帰国後も電話で話したりして、英語が練習できるので良いと思います。とにかく、留学先での過ごし方は人それぞれですが、必ずその後の人生に活かせる経験や価値観を得ることができると思うので、留学を検討している方はぜひ前向きに行動してみてくださいはいかがでしょうか。

報告書記入日

2021年1月18日